

一般質問

議会中継アクセス
QRコード



定例会初日 (6月10日)

一般質問は議員が市の行財政運営やまちの将来展望について質問し、行政機能をチェックするために行うものです。

第2回定例会の一般質問は11名の議員が、新型コロナウイルスワクチンの接種状況のほか、市の施策に対する評価や成果に関し、さまざまな視点から質問を行いました。

一般質問は5ページ～10ページに要約を掲載しています。詳細は市のホームページや図書館でも閲覧いただけます。



自民党恵義会 宮 利徳 議員

新型コロナウイルスワクチン接種事業について

問 新型コロナウイルスワクチンの接種は、現在高齢者への接種が進んでいます。今後の65歳以下の方へのワクチン接種の進め方、方針について伺います。

答 高齢者の次は基礎疾患を有する方への接種を予定しています。順次、高齢者のワクチン接種の目的がつき次第、対象者全ての接種券を発送していきます。また、対象年齢の引下げに伴う対象人数の増に対応するため、引き続き恵庭市医師会などと連携して接種回数確保に努めて参ります。

問 当初のワクチン接種実施計画では、週の接種目標回数はおよそ1700回程度でしたが、集団接種を加えたことによる週の接種回数について伺います。

答 週で最大3700回程度の接種が確保できる見込みです。加えて、職域接種や道が実施する集団接種で、今後さらに接種機会の確保が見込まれます。

問 ワクチンのキャンセル対策として予定しているエッセンシャルワーカーを対象としたキャンセルリスト作成の考え方と検討状況を伺います。

答 エッセンシャルワーカーの対象は通所系の介護サービス従事者、次に高齢者が入所・居住する障がい者施設従事者、次に障がい児通所支援サービス従事者、保育施設従事者を予定しています。現在介護サービス事業者について順次接種しており、引き続き対象者のリストアップを行っているところです。



集団接種の様子 (総合体育館)

その他の質問項目

・ 全国都市緑化北海道フェア、救急の現状と課題



自民党恵義会 川原光男 議員

「恵庭駅周辺活性化事業」えにあす周辺の機能拡大について

問 改定された都市計画マスタープランにおけるテーマ別プロジェクトから個別プロジェクトへ落とし込んだ恵庭地区を、将来どのように機能拡大を図る考えか伺います。

答 いざりえ、えにあすに続く取り組みとして、すみれ公園や旧市民活動センターの活用、ふるさと公園再整備などによる歩きたくなる通りの形成、駅前にあふさわしい景観づくりが次のまちづくりのテーマと考えています。

問 恵庭駅西口周辺整備事業完成後の地域振興構想の考えとして、地域団体による主体的活動の展開が必要と原田市長より答弁をいただきましたが、どのように形にする考えか伺います。

答 市は民間機能との複合化でえにあすを整備しました。今後は、エリアマネジメントとして地域団体による主体的な活動のきっかけづくり支援として、有効に使われる公共機能の検討を進めたいと考えています。

問 すみれ公園と旧市民活動センター跡地の一体的活用の検討が恵庭駅前通りの活性化に大変有益と思います。一体的活用案の地域への投げかけにより一緒に考えようとする機運を盛り上げていただきたいと思いますが、ご所見を伺います。

答 恵庭駅前通りの活性化には、利用者要望の把握と実現性、地元商店街の維持など、商店街や地域と行政の共通認識が必要です。今後すみれ公園や旧市民活動センターの活用による通りの活性化策が地元商店街や地域などから出されるような気運の盛り上がりに期待し、解決に向けて一緒に考え、動いていただく場が重要と考えます。



旧市民活動センター

その他の質問項目

・新型コロナウィルス感染症対策関連、交通信号機の移設ほか



自民党恵義会 南出典彦 議員

新住宅団地造成による住宅供給について

問 住宅団地の造成は、本市の人口増加、移住定住に大きな効果があることから、西島松地区における新たな住宅団地に大変期待しています。そこで、西島松地区の民間住宅開発の状況について伺います。

答 西島松地区の開発事業者による約2.2ha、約70宅地の開発行為申請が本年4月19日付で許可され、現在造成工事中です。開発行為期間は本年9月30日までとなっており、造成工事等が完了した後、住宅建築に着手する予定と伺っています。

問 コロナ禍においても、恵庭市内の住宅需要は堅調のようですが、市内住宅地、西島松住宅団地への移住相談の状況について伺います。

答 令和2年度の移住相談は、メール、電話が前年度比約2倍の118件、オンライン相談は18組という状況です。また、移住先として西島松住宅団地を購入候補地に挙げる方も複数いる状況です。西島松住宅団地は4月下旬より宅地販売を開始して

おり、すでに十数件の契約に向けた手続きが進行中と伺っています。

問 市内の住宅需要が堅調な要因は何か伺います。

答 約1年で完売した「ふれる恵み野」や西島松住宅地区は、いづれも駅から約1km以内で生活利便施設が揃うなど、利便性が高く札幌市などと比較して宅地規模にゆとりがあり、土地価格も抑えられていることが住宅購入層にとっての魅力となり、住宅需要が堅調な要因の1つになっていると考えています。



西島松地区民間住宅開発の様子 (写真提供：株玉川組)

その他の質問項目

・業務系企業誘致の推進、ITを導入したシテイセールスの推進など地域活性化施策



自由民主党清和会 長谷文子 議員

特定教育・保育施設等の障がい児の受け入れについて

問 「子育て支援」を市政運営の重要な柱とする本市では、障がい児教育の一層の充実が期待されますが、現状認識と課題、今後の対策について伺います。

答 支援が必要な子どもたちが希望どおり入所できるように、補助制度を設け受け入れ体制を整備しています。現状では一定数以上の受け入れができない幼稚園等があると認識しています。障がい児の受け入れには保育士等の加配が必要のため、必要数の判断などが人材確保とともに課題と捉えています。今後は、補助制度の見直しを検討して参ります。

問 恵庭市の補助制度では、加配保育士等の上限基準が5人となっておりますが、10人でも同額の補助とのことですが、ニーズが高まっている中で上限を設けていることをどのように考えているか伺います。

答 本市の制度は人件費相当額の一部補助としており、現在の基準は平成27年度に見直したもので、当時の

受け入れ状況等を勘案して対象とする加配保育士等の上限を5名としたところでです。

問 見直しから一定の年度が経過し、ニーズも高まっていますので、見直しの時期ではないのかなと思えますが、見直しを考えているか、考えている場合はその時期を伺います。

答 現状や実態把握、検証を進めるとともに、ニーズの高まり等も勘案して、私立幼稚園振興協議会などの意見を聞きながら、可能な限り早急に検討を進めたいと考えておりま



障がい児を受け入れる施設 (恵庭幼稚園)

その他の質問項目

・コロナ禍における経済対策、コロナワクチン、多子世帯の給食費補助



自由民主党清和会 石井美季 議員

男女共同参画の確かな実現へ向けての礎について

問 コロナ禍で浮彫になった女性の貧困問題などを考える際、SDGsの目標5ジェンダー平等の実現に目を向けざるを得ません。現状の教育から、さらに踏み込んだ教育が必要と考えますが、ご所見を伺います。

答 各小中学校では、授業の中で性別に関係なく人間関係を築くことの大切さなどを気づかせるよう指導しておりますが、ジェンダー平等の実現は世界から見て遅れているため、児童生徒の発達段階に応じ男女平等、相互理解や協力、女性の社会参加等の教育を各学校で進めて参ります。

問 子どもたちへのジェンダー教育が進む中、大人への対応も必要です。子どもがいる家族の意識も大変重要と考えますが、保護者への啓発をどのように進める考えか伺います。

答 各学校では、必要情報の保護者周知やPTAの研修に取り入れるなど、今後学校と保護者間で情報共有を図るよう機会を捉えて周知して参ります。

問 市は今年3月に、男女共同参画の啓発資料を作成し、いざりえの空中歩廊で掲示しました。広く市民の意識を高めるために、これらを目にする回数や場所を増やす必要があると思いますが、ご所見を伺います。

答 これまで特定の啓発期間のみ空中歩廊で掲示していましたが、幅広く市民に啓発することで男女平等意識の醸成や浸透を図るため、年間を通じて公共施設や学校で掲示するなど、幅広い啓発に向けて女性団体と協議しながら進めて参ります。



空中歩廊で掲示した啓発資料

その他の質問項目

・児童生徒の学習の機会の確保と感染予防の両立



自由民主党清和会 早坂 貴敏 議員

環境に配慮した今後のまちづくりについて

問 恵み野地区の今後の景観の在り方は、様々な課題を残していると認識していますが、景観に配慮した今後のまちづくりの課題をどのように分析しているか伺います。

答 恵み野駅前通りは、建物の壁面が後退し歩道と一体の街並みや特色ある花壇づくりなど、地域密着型商店街を形成していますが、壁面後退は恵み野開発当初の土地販売事業者と各店舗との協定に基づくもので、将来に亘る継続性に課題があると考えています。

問 根本的課題解決はされていないと思います。都市計画マスタープラン改定を踏まえ、地域の方々とまの将来を描くため議論共有の場が必要と思いますが、ご所見を伺います。

答 商店街、地域住民、専門家など様々な視点で検討する場の設置が重要で、検討内容は多岐に亘ると想定します。市も各部局連携して全庁横断的に進めたいと考えています。

問 恵み野駅通り、東口商店街の活性化に向け、時代に応じた将来像など地域の方々との協議が重要です。歴史的にも花のまち形成に大きな役割を担っており、来年に控える都市緑化フェアにおける連携も期待されますが、まちづくりの今後の進め方についてご所見を伺います。

答 恵み野は、これまで活発な事業を展開し、地域は花であふれるなど、全国でも特筆すべき商店街の1つと思います。様々な課題がある中で生き抜くためには、エリアマネジメントなどを活用しながら地域自らが将来を考えることが重要ですので、地域の取り組みに対し行政も支援し参加していきたいと思えます。



恵み野駅通り

その他の質問項目

・学童クラブと一時保育、えにわんチケットの成果と課題



公明党議員団 生本 富士代 議員

戸磯跨線橋架替工事に伴う安全対策について

問 戸磯跨線橋架替工事が6月1日より実施され、4年間にわたる車道の通行止めと仮設歩道橋の利用が始まりましたが、子どもたちの安全対策の取り組みを伺います。

答 和光小学校児童の通学路変更に伴う安全対策として、北海道開発局立会いのもと仮設歩道橋の事前点検、児童への通学練習として仮設歩道橋までの通学路の確認及び仮設歩道橋の渡り方の安全指導を行い、6月1日から3日間はスクールガードリーダーや教職員、交通安全指導員を増員して安全指導に当たったところとです。

問 交通安全指導員の配置について、仮設歩道橋の指導員が1名というのは不十分と思いますが、指導員を増やす検討はできないか伺います。

答 交通安全指導員は、小学校と調整を行い指定した場所に配置していますが、児童の登下校時の歩道橋の利用状況や学校の意見を踏まえ、検

討したいと考えております。

問 仮設歩道橋とその周辺は暗い場所が多く、不審者の出没が心配です。今後の対応と防犯カメラを設置する予定の有無について伺います。

答 恵庭市防犯協会連合会と仮設歩道周辺の現地調査を行い、黄金町側の仮設歩道が夜間暗いことを確認しましたので、今後防犯灯の設置について関係団体と協議し、安全対策を検討したいと考えております。防犯カメラは、地域からの要望があれば、検討したいと考えております。



和光小児童の通学の様子

その他の質問項目

・学校での手洗い場の感染症対策、子ども医療費助成制度の拡充、コロナに係る市独自の経済支援対策



公明党議員団 松島 緑 議員

児童クラブの現状と課題について

問 児童クラブの待機児童に対し子どもひろばのランドセル来館の対応をしていることは、大変喜ばれていますが、ランドセル来館はどのように対応しているか伺います。

答 ランドセル来館事業は、児童クラブに入会申請しても定員を超えているため待機状況の児童を対象に、自由に来館して遊びを行う子どもひろばを活用し、休日や放課後学校から直接来館できる登録制事業として行っています。このため、年度内に当該小学校区の児童クラブの定員に空きが出た場合は、児童クラブに移っていただくよう対応しております。

問 島松児童クラブは、他の児童に比べると子どもがのびのびという空きスペースが少ないと感じています。もっとのびのびとした環境で過ごすことが大事と思いますが、どのような考えか伺います。

答 現在2か所目の児童クラブについて、場所や支援員の確保等検討していますが、物件が見つからない現

状です。待機児童の現状や手狭の問題から、引き続き2か所目設置に向け対応して参ります。

問 児童クラブの利用時間は現在6時30分までだと思えます。江別市など時間延長している自治体もある中で、今後恵庭市として時間の延長を検討するのはいかがでしょうか。

答 支援員の配置方法など大きな課題がある現状です。時間延長は引き続き検討していく考えですが、ファミリーサポートセンター事業など、今できる方策をまずは提示して進めて参りたいと考えています。



ランドセル来館の様子

その他の質問項目

・新型コロナウイルス感染症の相談体制、ヤングケアラーの状況



民主・春風の会 澁谷 敏 議員

3期12年にわたる市長の在任期間の総括について

問 本年11月をもって原田市長3期目の任期が満了します。在任中の成果と課題に関しご所見を伺います。

答 平成29年の3期目に公約として掲げた6つの政策を柱とする「恵庭・新・ビジョンプログラム」は、本年2月の調査で71の主要項目全てで「取組中」又は「完了」となっており、議会や市民の皆様のご協力の下、順調に推移していると考えます。課題は、島松駅のバリアフリー化や市営住宅柏陽・恵央団地建替事業が未達成のため、引き続き重点項目として取り組んで参ります。

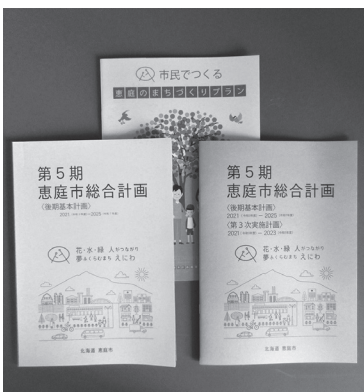
問 多選に関するご所見を伺います。

答 任期の長短にかかわらず行政の執行者として常に初心を忘れることなく、謙虚に業務を遂行することが何よりも大切であると考えており、残された任期を喫緊の課題である市民へのワクチン接種などコロナ対策などに全力を尽くしたいと考えています。

問 残った課題など残された期間の中でどのように進めていく考えかご所見を伺います。

答 新型コロナウイルス感染症の克服が何よりも重要であり、ワクチン接種などコロナ対策に全力を尽くして参りたいと考えています。

また、コロナ禍で課題が浮き彫りになった行政のデジタル化などについては、体制整備等を検討しながら、市民の皆様のご協力により行政改革を進める中で、課題の解決が図られるよう任期中取り組んで参りたいと考えています。



今年度策定した「第5期恵庭市総合計画後期基本計画」

その他の質問項目

・行政の生産性向上・デジタル化に向けた本市の状況、新型コロナウイルスワクチン接種ほか



市民と歩む会 柏野 大介 議員

二酸化炭素排出ゼロに向けた取り組みについて

問 恵庭市も、2050年二酸化炭素の排出実質ゼロの宣言とともに、今後の環境基本計画策定において、さらに踏み込んだ目標を掲げるべきと思いますが、ご所見を伺います。

答 昨今の情勢を踏まえた国の方針で、2050年にカーボンニュートラルを目指し、各部門の脱炭素化を進めることとしているため、次期計画の目標設定において国の方針との整合性を図ることとし、目標数値や二酸化炭素の排出実質ゼロ宣言を計画策定の中で検討して参ります。

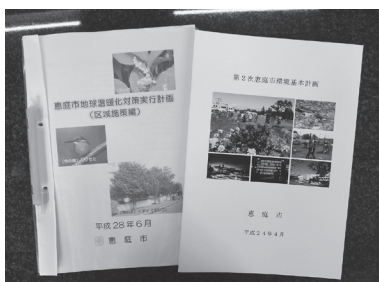
問 エネルギー自立を目指していくため、太陽光など大きな賦存量を活かしながら、区域全体で再生可能エネルギーを増やしていくための目標をどのように考えているか伺います。

答 太陽光など十分な賦存量がある一方、需給バランスを図るためのデマンドコントロールに他の電源との調整が必要なこと、発電コスト等の採算性、運営設置主体等の課題があり、導入には様々な研究が必要と考

えています。

問 もう一つの方策として、エネルギー消費を減らすことも考えられますが、自立分散型エネルギーシステム確立のためのエネルギー削減の取り組みについて伺います。

答 二酸化炭素排出削減に向けて、職員の省エネ活動として不要な電気を消すこと、照明器具のLED化、エネルギー使用量の少ない設備への更新、電力に関し二酸化炭素排出係数の低い新電力への切替えなどを行ってきたところです。



第2次恵庭市環境基本計画及び
恵庭市地球温暖化対策実行計画

その他の質問項目

・学童クラブの質の向上に向けた評価と検証の仕組み、島松学童の環境改善



市民と歩む会 新岡 知恵 議員

ヤングケアラーについて

問 少子高齢化などの増加により、18歳未満の子どもが祖父母や両親の介護や家事を余儀なくされるケースが増え、様々な困難を抱えている現状です。本市におけるヤングケアラーの実態を伺います。

答 介護、障がい、教育、子ども等の各種相談の場面で、児童生徒等における実態を個別に把握しており、当該児童生徒の介護等の負担軽減に向け、関係機関が連携して各種福祉サービス等につなげています。

問 家族のケアを担う子どもは年長になるほど負担が大きいと予想されますが、高校生の実態把握も必要と思いますが、高校との連携について伺います。

答 スクールカウンセラーによる不登校への対応等の中で担任から収集する情報、市関係部局との連携により実態把握しており、現在高校との連携は取っていませんが、小中学校との連携はもとより、要対協などで高校とも連携したいと考えています。

問 実態の把握には、医療・介護・福祉等の専門職だけではなく、学習支援などに関わっている地域の方々の力も借りて、ヤングケアラーの認識を高めることが重要ではないかと思いますが、ご所見を伺います。

答 実態把握することが支援の始まりと考え、各関係機関、学校、警察、児童相談所、民生児童委員などの関係機関から情報を集約し、どのようにヤングケアラーをキャッチするかが課題となっています。今後、国から示されるモデル事業のマニュアルなどを参考にしながら、対応を検討していきたいと考えています。

ヤングケアラーはこんな子どもたちです

ヤングケアラーの啓発資料

その他の質問項目

・コロナ禍における教育活動、公立夜間中学